

認 定 書

国 住 指 第 1146 号
平成 27 年 8 月 7 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4110
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.5±0.35以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	555.0±55.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ3.5±0.35mm以下</p> <p>質量555.0±55.5g/m²以下(有機質量190.0±19.0g/m²以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]化粧：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>…質量30.0±3.0g/m²(固形量)以下(有機質量10.0±1.0g/m²以下)</p> <p>(1)合成樹脂：質量30.0±3.0g/m²(固形量)以下(有機質量10.0±1.0g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <p> { 合成樹脂^{※1}…………… 10.0±1.0以下 （但し、ポリエステル系は9.0以下とする） 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……0～20.0±2.0 </p> <p>(2)なし</p> <p>[2]主素材：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)塩化ビニル系樹脂</p> <p>（[1]化粧が(2)の場合に限る）</p> <p>…厚さ2.8±0.28mm以下</p> <p>質量385.0±38.5g/m²以下^{※3}（有機質量125.0±12.5g/m²以下^{※4}）</p> <p>構成(g/m²)^{※3}</p> <p> { 塩化ビニル樹脂…………… 93.3±9.3以下 （但し、合成樹脂^{※5}0～6.7±0.7含む） 可塑剤^{※6}・減粘剤（カルボン酸エステル系）…………… 44.8±4.5以下 （但し、減粘剤は0～6.7±0.7の範囲とする） 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……7.7±0.8以上 有機質系発泡剤（アジカルボンアミド系、オキシベンゾスルホニルビラジド） ……0～4.1±0.4 有機質系安定剤（亜鉛系化合物）…………… 3.1±0.3以下 有機質系顔料^{※7}……………0～2.7±0.3 添加剤（防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤）……………0～2.0±0.2 </p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(2) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量375.0 ± 37.5g/m²以下^{※3} (有機質量115.0 ± 11.5g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… 85.8 ± 8.6以下</p> <p>(但し、合成樹脂インキ^{※5}0～6.2 ± 0.6含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 41.2 ± 4.1以下</p> <p>(但し、減粘剤は0～6.2 ± 0.6の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……7.1 ± 0.7以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド) ……0～3.7 ± 0.4</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 2.8 ± 0.3以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～2.5 ± 0.2</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～1.9 ± 0.2</p>
	<p>(3) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量365.0 ± 36.5g/m²以下^{※3} (有機質量105.0 ± 10.5g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… 78.4 ± 7.8以下</p> <p>(但し、合成樹脂インキ^{※5}0～5.6 ± 0.6含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 37.6 ± 3.8以下</p> <p>(但し、減粘剤は0～5.6 ± 0.6の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……6.5 ± 0.6以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド) ……0～3.4 ± 0.3</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 2.6 ± 0.3以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～2.3 ± 0.2</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～1.7 ± 0.2</p>
	<p>(4) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量355.0 ± 35.5g/m²以下^{※3} (有機質量95.0 ± 9.5g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… 70.9 ± 7.1以下</p> <p>(但し、合成樹脂インキ^{※5}0～5.1 ± 0.5含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… 34.0 ± 3.4以下</p> <p>(但し、減粘剤は0～5.1 ± 0.5の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……5.9 ± 0.6以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド) ……0～3.1 ± 0.3</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… 2.3 ± 0.2以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～2.1 ± 0.2</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～1.5 ± 0.2</p>

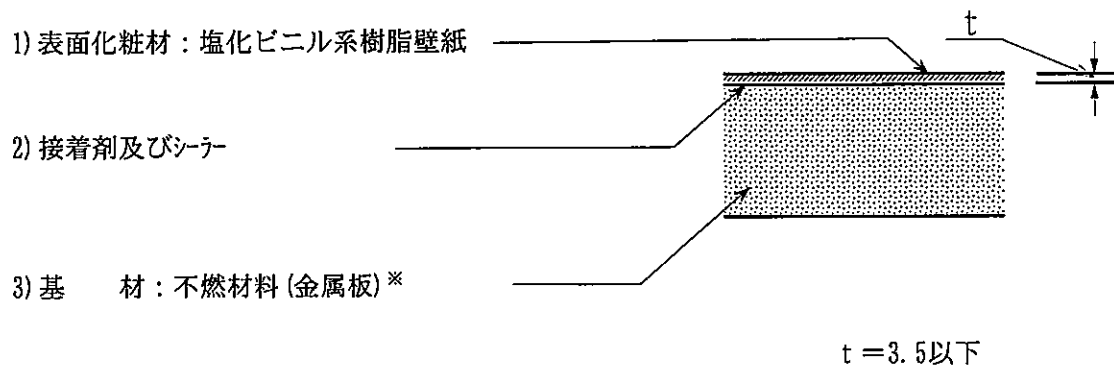
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3]裏打材^{※8}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)裏打紙：</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量65.0 ± 6.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1)有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9}…65.0 ± 6.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}15.6 ± 1.56以下とし、かつ有機質量を52.0 ± 5.2以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1}…8.8 ± 0.88以下 有機繊維^{※9}…46.0 ± 4.6以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を47.0 ± 4.7以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0 \pm 0.1 \sim 16.6 \pm 1.66$とする。)</p> <p>2)無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2}…$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>(2)裏打紙：</p> <p>([2]主素材が(2)で且つ[1]化粧が(2)の場合、又は[2]主素材が(3)若しくは(4)の場合に限る)</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量75.0 ± 7.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1)有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9}…75.0 ± 7.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}18.0 ± 1.80以下とし、かつ有機質量を60.0 ± 6.0以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1}…10.1 ± 1.01以下 有機繊維^{※9}…53.0 ± 5.3以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を54.0 ± 5.4以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0 \pm 0.1 \sim 19.2 \pm 1.92$とする。)</p> <p>2)無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2}…$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3)裏打紙：</p> <p>(〔2〕主素材が(3)で且つ〔1〕化粧が(2)の場合、又は〔2〕主素材が(4)の場合に限る)</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量85.0 ± 8.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1)有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p> ①有機繊維^{※9} …85.0 ± 8.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}20.4 ± 2.04以下とし、かつ有機質量を68.0 ± 6.8以下とする。)</p> <p> ②合成樹脂^{※1} …11.6 ± 1.16以下 有機繊維^{※9} …61.0 ± 6.1以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を62.0 ± 6.2以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0 \pm 0.1 \sim 22.2 \pm 2.22$とする。)</p> <p>2)無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p> ①無機質系充てん材^{※2} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$</p> <p> ②なし</p> <p>※1:合成樹脂は、エチン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※4:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※5:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチングリコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、フジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、EPA系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7:有機質系顔料は、アゾ系顔料、クマリン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。</p> <p>※9:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:合成樹脂系繊維は、ナイロン、アミド、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及び シーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量 $140 \pm 14 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $100 \pm 10 \text{ g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) でん粉系接着剤 …質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60 \pm 6 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>組成 { でん粉のみ …… 80 ± 2 以上 (質量%) { 補強剤^{※11} …… 20 ± 2 以下 (又は補強剤なし)</p> <p>(2) シーラー: 合成樹脂^{※12} …質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>2) …質量 $120 \pm 12 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) メチルセルロース系接着剤 …質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>組成 { メチルセルロース …… 80 ± 2 以上 (質量%) { 補強剤^{※11} …… 20 ± 2 以下 (又は補強剤なし)</p> <p>(2) シーラー: 合成樹脂^{※12} …質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10 \pm 1 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80 \pm 8 \text{ g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40 \pm 4 \text{ g/m}^2$ 以下)</p> <p>※11: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>

項 目	仕 様
基 材	不燃材料(金属板) 平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの

4. 構造説明図(寸法単位:mm)



※平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの